



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G1305号)

平成25年8月28日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲに関する情報について (平成25年度底びき漁期前調査結果)

平成25年8月5・6日および8月19～23日に但馬沖～島根県日御碕沖の水深180～350m(図1、表1)で、漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

① ハタハタ(秋漁)に関する情報

- ・大山沖から隠岐東方漁場にかけてまとまった入網がありました。(表1、図2)
- ・1網当たり入網重量は大山沖では前年にばないものの183kg/網と高水準でしたが、全域平均では45kg/網と過去9か年の平均的な水準となりました。(表2、図3)
- ・漁獲物は、全体としては体長14cm前後の1才魚が最も多く、2才魚(16cm前後)、3才魚(19cm前後)がこれに続いています。(図4)
- ・以上のことから、漁場については大山沖、隠岐東方を中心に形成されると見られます。漁獲物は小型の1才魚を中心に中型の2才魚、大型の3才魚が比較的多く混じるでしょう。漁獲は解禁直後は昨年より少ないと見られますが、期間を通じては近年の平均的な水揚げが期待されます。(図5)

② アカガレイ(秋漁)に関する情報

- ・アカガレイの入網は但馬沖～大山沖においてまとまって認められました。(表1、図6)大型雌個体は水深300m以深で、中小型個体は但馬沖・大山沖の210・240mで入網しました。(図7-1, 2)。
- ・但馬沖～大山沖での入網量は前年をやや下回りました。(86%)
- ・以上のことから秋漁は但馬沖から大山沖にかけて漁場が形成されるでしょう。漁獲量は前年をやや下回る可能性があります。

③ エチゼンクラゲに関する情報

- ・24点中13点(いずれも大山沖以西)で入網し、特に日御碕沖水深210～270mでは1曳網当たり入480～700kg(15～30個、傘径80-110cm)の入網がありました。(表1、図8)
- ・大量に来遊した2009(平成21)年に比べると少ないものの、昨年、一昨年よりは多く、操業への影響が懸念されるレベルと考えられます。海域によってはクラゲ抜き等の対策が必要かもしれません。
- ・大型クラゲ出現情報(JAFIC) (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>) や出現予測(水研センター) (<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/frayosoku21.html>) が公開されています。引き続き最新の情報収集に努めて下さい。

④ その他の情報

8/20・21に隠岐北方から西方において、最大2.9ノットに達する北東方向への強い流れが観測されました。

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nouringc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ： <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>

平成25年度底びき漁期前調査結果 資料

1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

2)調査日時

平成25年8月5・6日(但馬沖)

平成25年8月19～23日(大山沖～日御碕沖)

3)調査海域

但馬沖から日御碕沖にかけての水深180～350m海域(図1参照)

4)使用船舶

兵庫県 新漁業調査船「たじま」(199トン)

5)調査内容

①トロール試験操業

図1に示した計24点において、底びき試験操業を実施。

(但馬沖から大山沖で270m定点を300mに変更)

使用漁具:着底トロール網、袋網8節、袖先間隔約28m、間口高さ約2.2m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

②海洋観測

定点におけるSTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

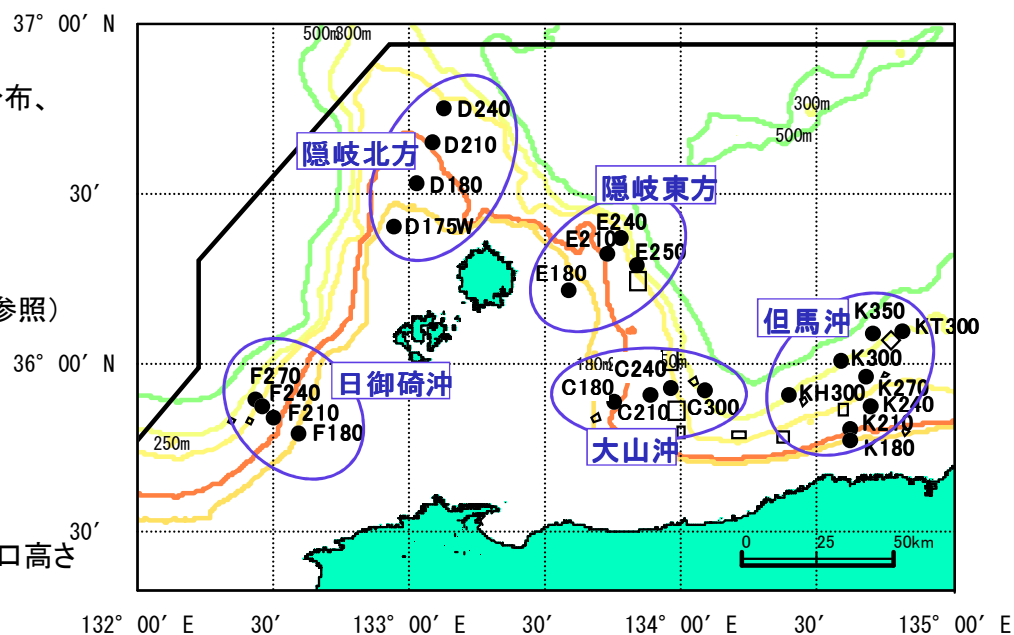


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	曳網開始位置		海区番号	魚種別入網重量(kg)							
					北緯	東経		ハタハタ	アカガレイ (マガレイ)	ソウハチ (イテ)	ヒレグロ (ヤマ)	ハイ類	エビ類	ノロゲンギ (トギ)	エチゼン クラゲ
					度 分	度 分									
8/6	6:47	但馬沖	K350	322	36 5.5	134 42.0	8097	0.4	22.3	0.0	0.0	0.8	13.0	68.7	0.0
"	8:28		K300	302	36 0.6	134 34.9	8097	0.4	54.4	1.0	0.3	0.6	6.9	98.9	0.0
"	10:18		KH300	300	35 54.6	134 23.5	8096	0.4	71.4	0.6	1.3	3.1	5.1	44.3	0.0
8/5	16:51		KT300	298	36 5.8	134 48.1	8191	0.0	46.5	0.9	0.2	0.7	5.1	31.8	0.0
"	14:51		K270	267	35 57.8	134 40.1	8097	9.1	49.9	0.0	3.7	2.6	3.4	34.1	0.0
"	13:12		K240	232	35 52.6	134 41.1	8086	5.0	25.5	1.6	2.4	17.4	0.5	7.0	0.0
"	11:39		K210	206	35 48.6	134 37.0	8089	3.1	62.4	0.4	0.8	7.5	0.1	0.0	0.0
"	10:10	K180	181	35 46.5	134 37.0	8086	0.0	0.0	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
8/23	7:00	大山沖	C300	319	35 55.6	134 4.7	8197	0.1	22.8	6.5	6.0	9.1	0.2	9.6	21.7
8/19	13:09		C240	236	35 55.8	133 57.6	8291	65.3	99.3	42.6	0.7	16.8	0.2	5.5	3.0
"	14:48		C210	211	35 54.8	133 52.9	8291	539.9	93.5	16.8	0.6	19.9	0.3	0.0	2.3
"	16:42		C180(190)	194	35 53.2	133 45.1	8294	164.4	5.9	0.2	0.1	4.9	0.2	0.0	0.0
8/21	14:35	隠岐 東方	E250	249	36 17.7	133 50.1	8284	128.3	6.4	0.0	2.4	6.0	1.3	5.9	1.1
"	12:03		E240	243	36 22.5	133 46.3	8284	29.8	0.4	0.0	3.2	7.0	0.4	5.1	0.0
"	10:23		E210	209	36 19.3	133 43.6	8284	25.0	3.7	0.0	5.2	17.2	1.0	0.0	0.0
"	8:26		E180(170)	168	36 13.3	133 34.8	8285	2.2	0.0	0.6	0.0	0.1	0.0	0.0	7.9
8/20	6:43	隠岐 北方	D240(230)	230	36 44.9	133 7.8	8378	6.5	2.9	0.0	9.7	5.3	2.1	11.2	90.8
"	8:37		D210	205	36 39.3	133 5.2	8378	10.1	3.6	0.0	5.2	18.0	1.5	0.0	135.0
"	10:52		D190	190	36 32.1	133 1.3	8379	31.0	6.7	0.0	11.6	17.4	0.4	0.0	29.7
"	13:10		D175W	177	36 24.5	132 56.4	8484	1.2	0.0	0.0	0.5	15.0	1.1	0.0	105.0
8/22	12:38	日御 碕沖	F270	273	35 53.7	132 26.4	8591	0.1	3.4	7.6	17.0	10.2	0.3	12.7	703.6
"	11:06		F240	247	35 52.5	132 27.8	8591	0.4	0.8	0.0	2.7	6.1	0.0	1.6	535.0
"	9:33		F210	216	35 50.5	132 30.2	8497	2.5	1.4	0.4	2.4	6.0	0.3	9.1	480.0
"	7:45		F180	178	35 47.6	132 35.7	8498	2.4	0.0	3.7	31.8	4.5	0.6	0.0	19.2

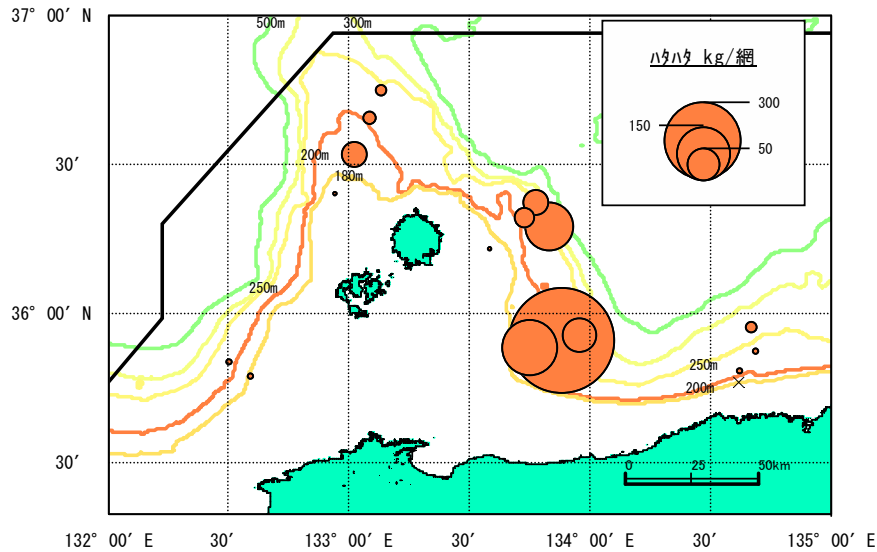


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

表2 エリア別1曳網当たりハタハタ入網量

(曳網水深166-255m、袖先間隔比で補正)

年\エリア	単位:kg					平均
	日御碕沖	隠岐北方	隠岐東方	大山沖	但馬沖	
2005	—	—	70.0 (1)	—	13.8 (3)	27.9
2006	—	70.4 (3)	48.4 (1)	—	3.9 (3)	38.7
2007	—	181.9 (3)	107.1 (2)	209.0 (1)	4.3 (3)	109.1
2008	—	—	—	107.6 (2)	0.5 (2)	54.0
2009	7.6 (3)	29.9 (3)	25.3 (3)	34.3 (2)	3.8 (2)	20.4
2010	1.5 (3)	76.8 (3)	42.0 (3)	14.9 (3)	3.7 (3)	27.8
2011	13.6 (4)	90.9 (2)	135.3 (3)	35.9 (3)	9.1 (3)	51.8
2012	1.5 (3)	85.0 (3)	202.2 (3)	288.1 (3)	9.1 (3)	117.2
2013	1.2 (3)	11.3 (3)	33.0 (4)	182.6 (3)	1.9 (3)	45.2

()内は操業点数

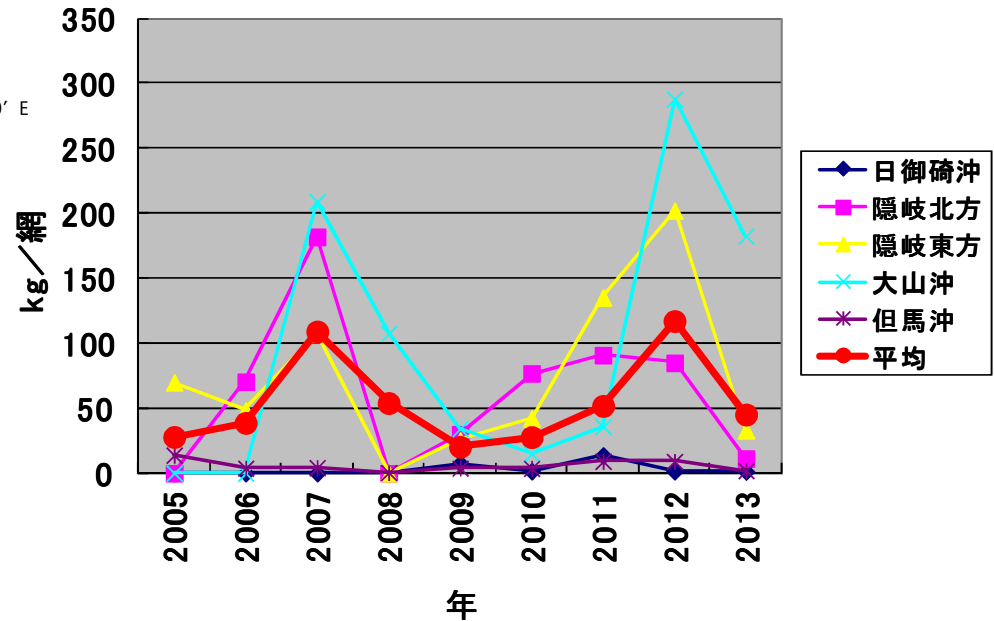


図3 1曳網当たり入網重量の年推移
(調査船、網の違いは袖先間隔の比で補正)

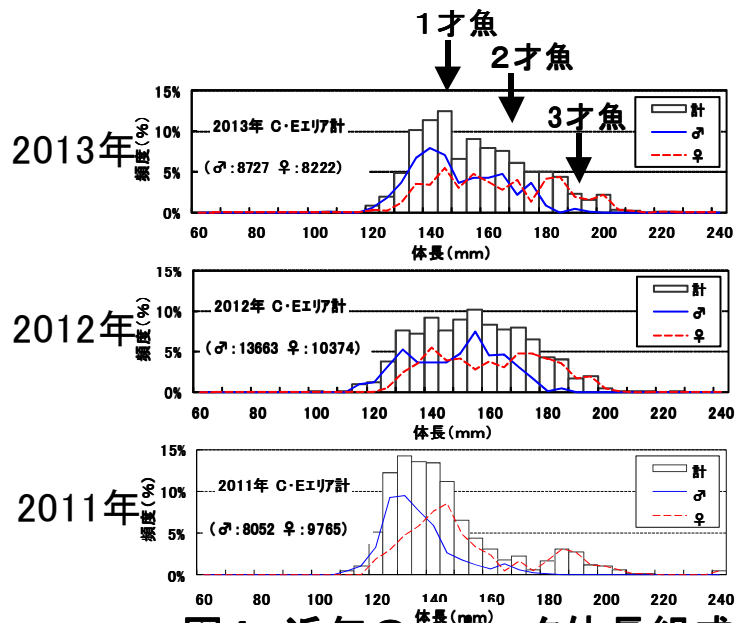


図4 近年のハタハタ体長組成
(隠岐東方～大山沖)

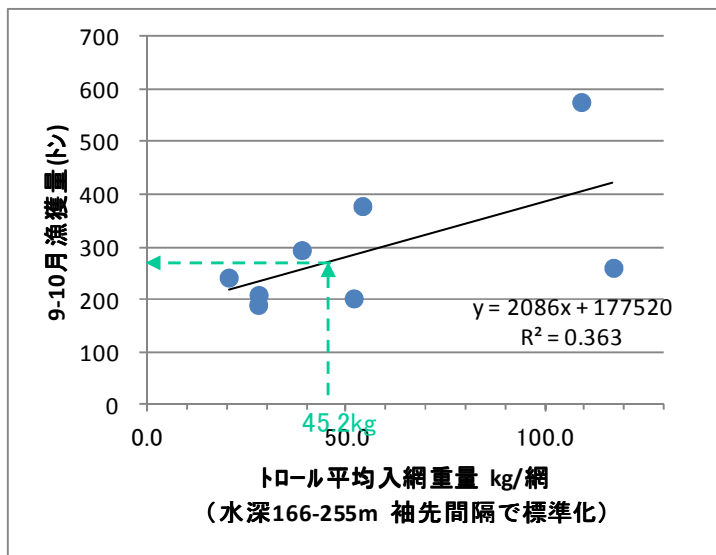


図5 調査平均入網重量と9-10月の
ハタハタ漁獲量との関係

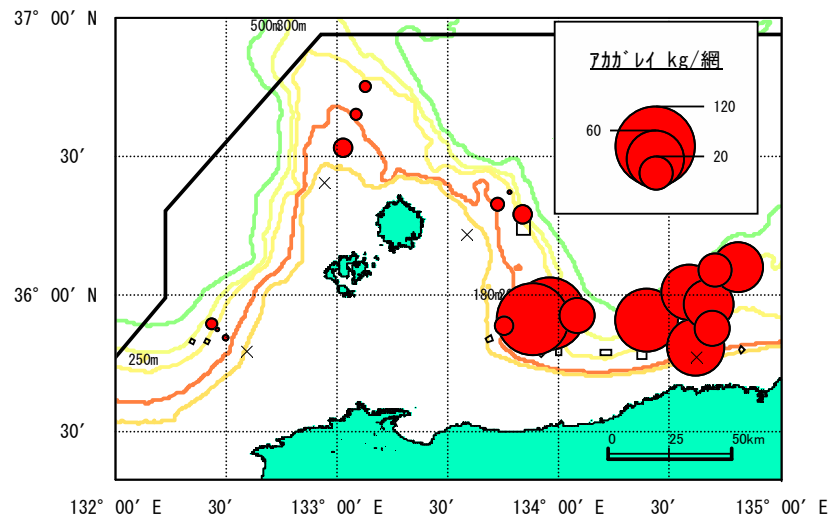


図6 アカガレイ入網重量の分布(kg/網)

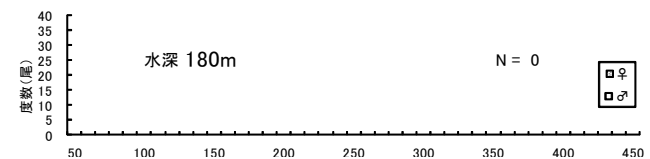
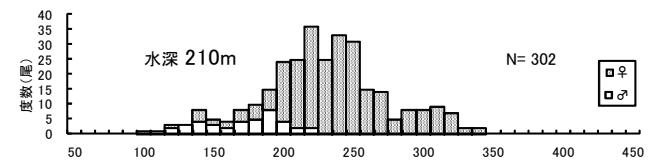
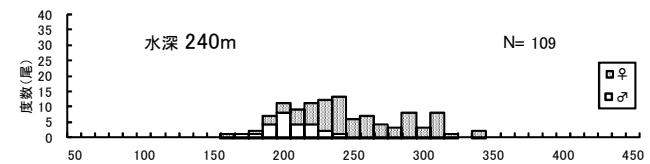
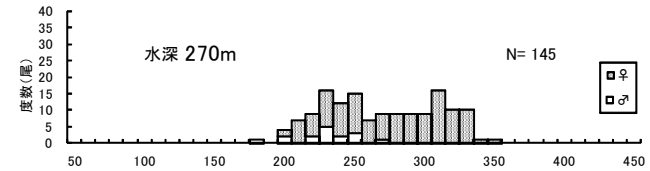
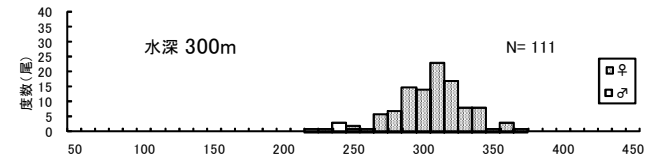
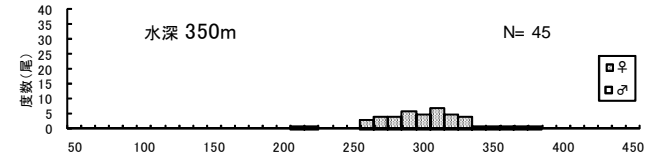
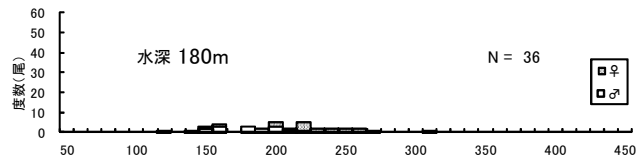
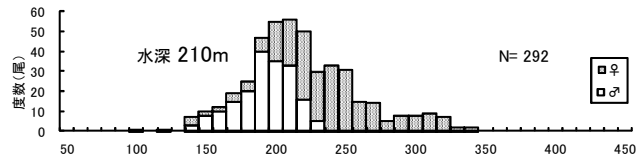
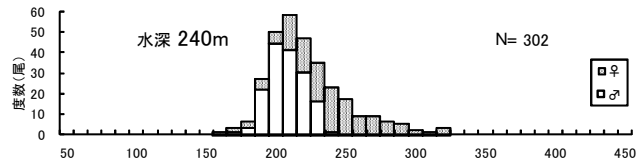
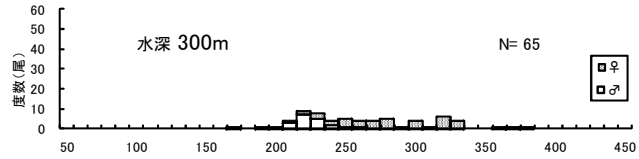


図7-1 定点別アカガレイ体長組成
(2013年大山沖)

図7-2 定点別アカガレイ体長組成
(2013年香住沖)

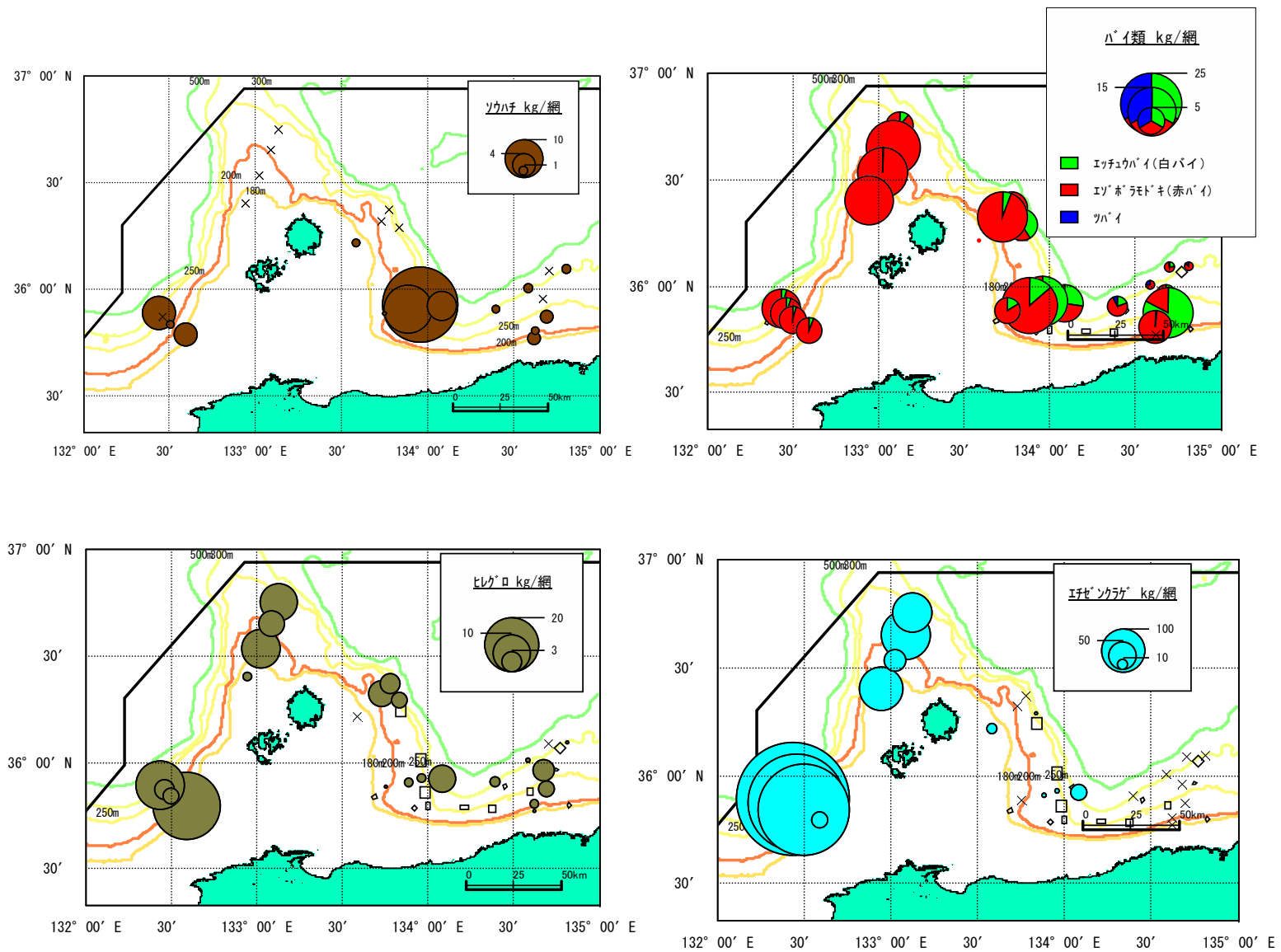


図8 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)